

ADPISA 2026年度 シラバス

■ 基本情報

科目名	セキュアな企業と情報システム	
科目番号	151	
担当講師	平川 歩	
分類	選択	
科目総時間	15.0	
対面/OL 日数	2日	

■ 科目の説明

授業の概要	安全なITサービスを安定的に提供することは、事業継続・顧客信頼・法令遵守の観点から極めて重要であり、日々の運用・改善を含むマネジメントの重要性は年々高まっている。 本科目では、ITサービスマネジメントおよび情報セキュリティマネジメントに関する基礎知識を体系的に学び、企業における実務適用の勘所を理解する。講義に加え、グループワークを通じて、ITサービスの設計・運用とセキュリティ管理を「分離した活動」ではなく、一体のマネジメントとして統合的に扱う視点を身につける。
特色とメリット	・ITサービスマネジメントの枠組みと、情報セキュリティマネジメントの枠組みを関連付けて理解できる。 ・インシデント対応、サプライヤー管理など、ユーザー企業で頻出する論点を実践例やグループワークを通じて学べる。
学習目標	・ITサービスマネジメントおよび情報セキュリティマネジメントの基礎概念（目的、用語、主要プロセス）を説明できる。 ・代表的な規格・ガイド（ITIL、ISO/IEC 20000-1、ISO/IEC 27001、リスク管理等）を参照し、現場適用の要点を説明できる。 ・講義及びグループワークを通じて、企業内でのITサービスマネジメント、情報セキュリティマネジメントの具体的な実装・実践方法をイメージできる。
受講の前提条件	特になし（ただし、企業活動・情報システム利用に関する基本的な理解があると望ましい）

■ 学習設計（内容と時間の対応）

回	学習内容	時間（分）	種別	備考
1日目 事前学習	・AIチューター等を用い、主要用語の予習（各自メモ化） ITサービスマネジメント、PDCA、インシデント、サプライヤー管理 、情報セキュリティマネジメント、CIA、情報セキュリティ10大脅威、多層防御、シフトレフト、リスクマネジメント、リスク対応の種類（4種類）、演繹法、帰納法	60	AIチューター	
1日目	・重要キーワード（サービス、マネジメント、CIA、リスク、等） ・企業におけるサービスマネジメント、セキュリティマネジメントの重要性 ・ITサービスマネジメント概論と実践、課題 ・情報セキュリティ概論（技術的対策） ・グループディスカッション：セキュリティ対策の考え方	360	対面	
1日目 事後学習	・気付きシート記入	30	その他	
2日目 事前学習	・AIチューター等を用い、主要用語の予習（各自メモ化） サイバーセキュリティ経営ガイドライン、中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン、NIST Cybersecurity Framework ・自組織（または想定企業）の情報セキュリティマネジメント体制／ポリシー有無の簡易整理（分かる範囲で可） ・グループワークに関する資料の精読（講師配布）	60	AIチューター	
2日目	・情報セキュリティ概論（組織的対策） ・情報セキュリティマネジメント体制（経営ガイドライン、ポリシー構造、SOC/CSIRT・エスカレーション） ・実践例の紹介（DXの取り組み、生成AI活用と統制） ・グループワーク①：情報セキュリティマネジメント体制 ・グループワーク②：セキュリティ対策（技術的、組織的対策）	360	対面	
2日目 事後学習	・気付きシート記入	30	その他	
合計		900		

■ 参考文献

参考文献・ オンライン科目	・ITIL（用語・プロセスの参照） ・ISO/IEC 27001（ISMS）／ISO/IEC 20000-1（ITSMS）／ISO 31000（リスクマネジメント） ・NIST Cybersecurity Framework（Identify/Protect/Detect/Respond/Recover） ・サイバーセキュリティ経営ガイドライン／中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン ・情報セキュリティ10大脅威（概観）
------------------	--